

## ～ももとせ学校入校記～

昨年10月、家族に「適当な老人施設があれば、世話になりたい」と話し、包括支援センターに問い合わせてもらったところ、市の制度で週1日だけデイサービスが利用できるということなので、「ももとせ学校」に通わせてもらう事にしました。

ここは、廃校になっていた皆野町の元金沢小学校を「デイサービスももとせ学校」として、清水病院が運営されているとの事です。この施設では、大まかには午前中2時間は7教科のうち2教科で授業、昼食休憩後、午後はゲームや体操、その後ホームルームを行い、午後3時前に1日の工程は修了です。80年も昔、今は亡き盟友達が年少の頃学んだ小学校に、95歳を過ぎた年老いた私がよもや同校に入校するとは夢にも思いませんでした、この窓からみる景色を彼らも見ただと感慨に胸を打たれました。

昨年は高田先生や家族の援助を受け、自分の生涯を綴った「95歳・私の人生を変えたシベリアでの出会い」の出版も終え、なにやら自分なりにひと仕事完了の気分で、次の生き方を目指し、それが「ももとせ学校」入校のきっかけでした。何よりも魅力は国語・算数・理科・社会・音楽・保健体育等が学べるという事で、これは年寄りにとって、すすけた脳細胞に山の湧き水を注がれたように新鮮でした。せがれに「先生は介護の専門科で、教師じゃないんだから、変な質問などして困らせるなよ」とたしなめられました。とんでもない、私が女性の先生に教わったのは、小学校1年生の時以来実に90年振りです。長生きしていると、時にはこうした新鮮な癒しに巡り合えることがあります。毎月新しい教科書が配布され、その虎の巻が書いてある解説付きの教科書に基づいて、4人の先生が交代で教えてくれます。娘か孫のような先生が、爺婆の生徒に教えるのだから、そのギャップが面白い、ときに『そうじゃねえよ』とか『そんなことも知らねんか』とか年寄りに優越感を持たせてくださいます。自分の体力と相談しながら楽しく生きていきます。

2021年5月23日

ももとせ学校利用者 A.K